



平成 23 年 9 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 23 年 8 月 5 日

上場会社名 株式会社ダイイチ 上場取引所 大
 コード番号 7643 URL <http://www.daiichi-d.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小西 保男
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画 IR 兼 経理担当 (氏名) 川瀬 豊秋 (TEL) 0155(38)3456
 四半期報告書提出予定日 平成 23 年 8 月 12 日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 23 年 9 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 22 年 10 月 1 日～平成 23 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23 年 9 月期第 3 四半期	22,304	2.8	564	8.5	517	9.2	266	△20.9
22 年 9 月期第 3 四半期	21,692	4.2	520	21.8	473	19.7	336	57.6

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23 年 9 月期第 3 四半期	66.59	—
22 年 9 月期第 3 四半期	84.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23 年 9 月期第 3 四半期	14,168	5,079	35.9	1,270.67
22 年 9 月期	14,346	4,872	34.0	1,218.80

(参考) 自己資本 23 年 9 月期第 3 四半期 5,079 百万円 22 年 9 月期 4,872 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22 年 9 月期	—	0.00	—	15.00	15.00
23 年 9 月期	—	0.00	—		
23 年 9 月期 (予想)				15.00	15.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成 23 年 9 月期の連結業績予想 (平成 22 年 10 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	30,221	3.4	683	8.0	601	4.9	300	△24.0	75.19

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、〔添付資料〕P.3「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

23年9月期3Q	4,003,320株	22年9月期	4,003,320株
23年9月期3Q	5,829株	22年9月期	5,756株
23年9月期3Q	3,997,531株	22年9月期3Q	3,997,643株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、〔添付資料〕P.2「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

〔添付資料〕

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成22年10月1日～平成23年6月30日）におけるわが国経済は、第1四半期は、企業や家計の心理が後退し、景気は、一進一退の足踏み状態が続き、1月以降は、輸出や生産に支えられて、一部に持ち直しに向けた動きが見られたものの、東日本大震災後は、個人消費・設備投資・輸出などの経済活動が急速に落ち込み、先行きの不透明感が強まりました。

当社グループを取り巻くスーパーマーケット業界は、震災発生後、一時的に飲料水や乾電池などの生活必需品の特需があったものの、お客様の不要不急の支出抑制や食料品を中心とした安心・安全志向の高まりに加え、業種の垣根を超えた企業間競争の激化などにより、依然として厳しい経営環境にありました。

このような経営環境のもとで当社グループは、当連結会計年度の重点目標である「帯広自衛隊前店および旭川花咲店の早期黒字化」に総力を挙げて取り組み、お客様からの高いご支持と信頼をいただき、着実に成果を上げてきており、業績につきましては、概ね年度計画どおりに進捗しております。

また、重点実施事項につきましては、「販売力強化策の実行」の実践として、新商品開発の強化、買いやすい量目・価格の徹底、計画的な試食・関連販売の徹底、各種コンテストの計画・実施、鮮度管理の徹底などに努めるとともに、「旧店舗の改装のスケジュール化」の実践として、平成23年4月に、お客様の買い物環境の改善と省エネ店舗への取り組みを目的として「白樺店」（帯広ブロック）を改装いたしました。「札幌地区新店開発の促進」につきましては、札幌市西区発寒中央駅前に当年12月、札幌地区3店舗目の出店を計画し、着実に準備を進めております。

地域別の売上高につきましては、帯広ブロックは108億30百万円（前年同四半期比2.7%増）、旭川ブロックは80億15百万円（前年同四半期比4.8%増）、札幌ブロックは34億49百万円（前年同四半期比1.1%減）となりました。また、売上総利益率につきましては、仕入の強化や販売計画の見直しなどにより、前年同四半期比0.3%の増加となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は223億4百万円（前年同四半期比2.8%増）、営業利益は5億64百万円（前年同四半期比8.5%増）、経常利益は5億17百万円（前年同四半期比9.2%増）となり、増収増益を達成いたしました。一方、四半期純利益は「資産除去債務に関する会計基準」の適用に伴う特別損失60百万円を計上したこと等により、2億66百万円（前年同四半期比20.9%減）となりました。

なお、東日本大震災の影響につきましては、一部の商品に品切れや入荷遅れが一時的に発生いたしました。当社グループ従業員への人的被害および店舗等の設備への被害はなく、営業活動に与える影響は軽微であります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債および純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末と比べ1億78百万円減少の141億68百万円となりました。流動資産においては、主に現金及び預金の増加1億98百万円および商品及び製品の増加40百万円に対し、その他の減少68百万円等により前連結会計年度末に比べ1億66百万円増加の21億41百万円となりました。固定資産においては、建物の減少1億97百万円、有形固定資産その他の減少71百万円および敷金及び保証金の減少79百万円等により、前連結会計年度末に比べ3億45百万円減少の120億26百万円となりました。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ3億85百万円減少の90億88百万円となりました。流動負債においては、主にその他の増加1億20百万円、未払法人税等の増加85百万円および短期借入金の増加60百万円等により、前連結会計年度末に比べ2億83百万円増加の39億42百万円となりました。固定負債においては、長期借入金の減少6億1百万円およびその他の減少1億10百万円等により、前連結会計年度末に比べ6億69百万円減少の51億46百万円となりました。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2億7百万円増加の50億79百万円となりました。これは主に、利益剰余金2億6百万円の増加によるものであります。この結果、自己資本比率は35.9%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、7億42百万円となりました。これは営業活動におけるキャッシュ・フローが9億30百万円の収入、投資活動におけるキャッシュ・フローが42百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローが7億16百万円の支出となったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年9月期の連結業績予想につきましては、平成22年11月10日に公表いたしました数値から修正は行っておりません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 簡便な会計処理

簡便な会計処理につきましては、重要性が乏しいため記載は省略しております。

② 特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(資産除去債務に関する会計基準の適用)

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益はそれぞれ5,038千円減少し、税金等調整前四半期純利益は65,379千円減少しております。

また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は13,146千円であり、敷金及び保証金の変動額は51,761千円であります。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	848,740	650,188
売掛金	130,697	135,598
商品及び製品	865,090	824,478
原材料及び貯蔵品	2,692	1,882
その他	295,591	363,758
貸倒引当金	△1,500	△1,500
流動資産合計	2,141,311	1,974,406
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	4,288,593	4,486,456
土地	5,721,650	5,721,650
その他（純額）	716,379	787,961
有形固定資産合計	10,726,623	10,996,068
無形固定資産		
その他	27,057	27,057
無形固定資産合計	27,057	27,057
投資その他の資産		
敷金及び保証金	611,147	690,313
その他	661,905	658,319
投資その他の資産合計	1,273,052	1,348,632
固定資産合計	12,026,733	12,371,758
資産合計	14,168,045	14,346,165
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,786,388	1,756,079
短期借入金	90,000	30,000
1年内返済予定の長期借入金	807,999	832,370
未払法人税等	159,945	74,875
賞与引当金	179,184	167,017
その他	918,931	798,139
流動負債合計	3,942,448	3,658,481
固定負債		
長期借入金	3,707,422	4,308,881
退職給付引当金	465,295	437,293
役員退職慰労引当金	150,501	150,990
資産除去債務	15,133	—
その他	807,743	918,278
固定負債合計	5,146,095	5,815,442
負債合計	9,088,544	9,473,923

(単位:千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	840,455	840,455
資本剰余金	767,302	767,302
利益剰余金	3,475,328	3,269,085
自己株式	△2,748	△2,702
株主資本合計	5,080,336	4,874,140
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△835	△1,899
評価・換算差額等合計	△835	△1,899
純資産合計	5,079,501	4,872,241
負債純資産合計	14,168,045	14,346,165

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年6月30日)
売上高	21,692,184	22,304,541
売上原価	16,763,357	17,173,863
売上総利益	4,928,827	5,130,677
営業収入	322,330	366,309
営業総利益	5,251,157	5,496,987
販売費及び一般管理費	4,730,972	4,932,377
営業利益	520,184	564,610
営業外収益		
受取利息	6,024	7,037
受取配当金	5,522	4,125
その他	6,147	5,448
営業外収益合計	17,694	16,610
営業外費用		
支払利息	62,798	63,075
その他	1,245	812
営業外費用合計	64,043	63,887
経常利益	473,835	517,333
特別利益		
保険解約返戻金	—	13,119
受取補償金	26,773	—
特別利益合計	26,773	13,119
特別損失		
固定資産除却損	—	4,238
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	60,341
特別損失合計	—	64,580
税金等調整前四半期純利益	500,608	465,871
法人税、住民税及び事業税	150,593	227,236
法人税等調整額	13,264	△27,571
法人税等合計	163,857	199,665
少数株主損益調整前四半期純利益	—	266,206
四半期純利益	336,751	266,206

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 平成21年10月1日 至 平成22年6月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 平成22年10月1日 至 平成23年6月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	500,608	465,871
減価償却費	249,261	356,312
賞与引当金の増減額（△は減少）	13,820	12,167
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△6,099	28,002
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	4,768	△488
受取利息及び受取配当金	△11,546	△11,162
支払利息	62,798	63,075
固定資産除却損	—	3,476
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	60,341
売上債権の増減額（△は増加）	△37,248	4,901
たな卸資産の増減額（△は増加）	△60,260	△41,422
その他の資産の増減額（△は増加）	34,867	79,838
仕入債務の増減額（△は減少）	214,094	30,308
未払消費税等の増減額（△は減少）	△48,473	69,736
その他の負債の増減額（△は減少）	98,811	6,210
小計	1,015,404	1,127,169
利息及び配当金の受取額	5,753	4,182
利息の支払額	△63,250	△62,311
法人税等の支払額	△194,919	△138,845
営業活動によるキャッシュ・フロー	762,988	930,194
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△37,014	△33,304
定期預金の払戻による収入	26,000	6,000
有形固定資産の取得による支出	△454,758	△50,502
投資有価証券の取得による支出	△7,939	△99
出資金の回収による収入	450	—
貸付金の回収による収入	—	190
建設協力金の支払による支出	△225,794	—
建設協力金の回収による収入	24,246	24,246
敷金及び保証金の差入による支出	△30,634	△4,849
敷金及び保証金の回収による収入	2,633	15,892
投資活動によるキャッシュ・フロー	△702,809	△42,427
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	883,000	—
長期借入金の返済による支出	△551,608	△625,830
短期借入金の純増減額（△は減少）	△15,000	60,000
リース債務の返済による支出	△31,142	△90,287
自己株式の取得による支出	—	△46
配当金の支払額	△60,308	△60,357
財務活動によるキャッシュ・フロー	224,940	△716,520
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	285,119	171,246
現金及び現金同等物の期首残高	490,503	571,298
現金及び現金同等物の四半期末残高	775,623	742,545

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

当第3四半期連結累計期間(自平成22年10月1日 至平成23年6月30日)

当社グループ(当社および連結子会社)は、食料品主体のスーパーマーケット事業およびこれらの付帯業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。